



# まごころ

第13号

平成28年  
11月発行

淡路島福祉会 30周年記念号



開所当時の翁寿園【30年前】



## 30年前の思い出

社会福祉法人 淡路島福祉会  
副理事長 八木 英 臣



あっという間に月日が流れてしまいました。30年間の思い出として一番頭の中に残っているのは、着任当初より八木寺内の方々をはじめ地域の皆様にかわいがっていただいたと言う事です。34歳の若造を気持ちよく迎え入れて下さったことに感謝以外の言葉は見当りません。

昭和62年2月、八木病院の地鎮祭の日でした。当時の社会福祉法人淡路島福祉会の理事・北川公一さん、町会議員の宮地恒雄さんから話があるので地鎮祭のあと少し時間を作って欲しいと言われ「とんかつ一番」に行きました。八木病院の近くに特別養護老人ホームが建設中だと言うことは知っていましたが、話の内容がその法人の運営を引き継いで欲しいと言うのは、青天の霹靂以外の何ものでもありません。4月の開設までには2ヶ月を切っているし、職員もほとんど決まっていない状態です。もちろん入所者さんの事など知る由もありません。社会福祉法人についても何も知らない状態でしたが、八木康公理事長と相談の結果、地元が困っているのならやらせてもらおうという結論になりました。法人を前任者から引き継ぐために明石と加古川に何回も足を運びました。とにかく波瀾万丈の幕開けでした。

30年を振り返ってみれば決して順風満帆だったとは言えませんが、すばらしい職員に恵まれ、地域に密着した社会福祉法人になったと自負しています。60歳代も半ばになりましたが若い職員の邪魔にならないように気をつけながら、もう少しの間地元の役に立てるようにがんばりたいと考えています。

## 30周年を迎える事ができました

社会福祉法人 淡路島福祉会  
理事長 八木 康 公



早いものです。昭和62年春に社会福祉法人「淡路島福祉会」が地元の皆様の暖かい御支援で産声をあげました。そして同年、法人の運営する最初の施設、特別養護老人ホーム「翁寿園」が誕生致しました。その後、皆様のおかげで30年の年月を経て現在では「9施設」「18事業所」という大所帯の法人に成長してまいりました。

思い返せば本当に南あわじ市の地域の方々、そして関係者の皆様、職員の方々の厚い御支援により今日を迎える事が出来たものと深く感謝しております。

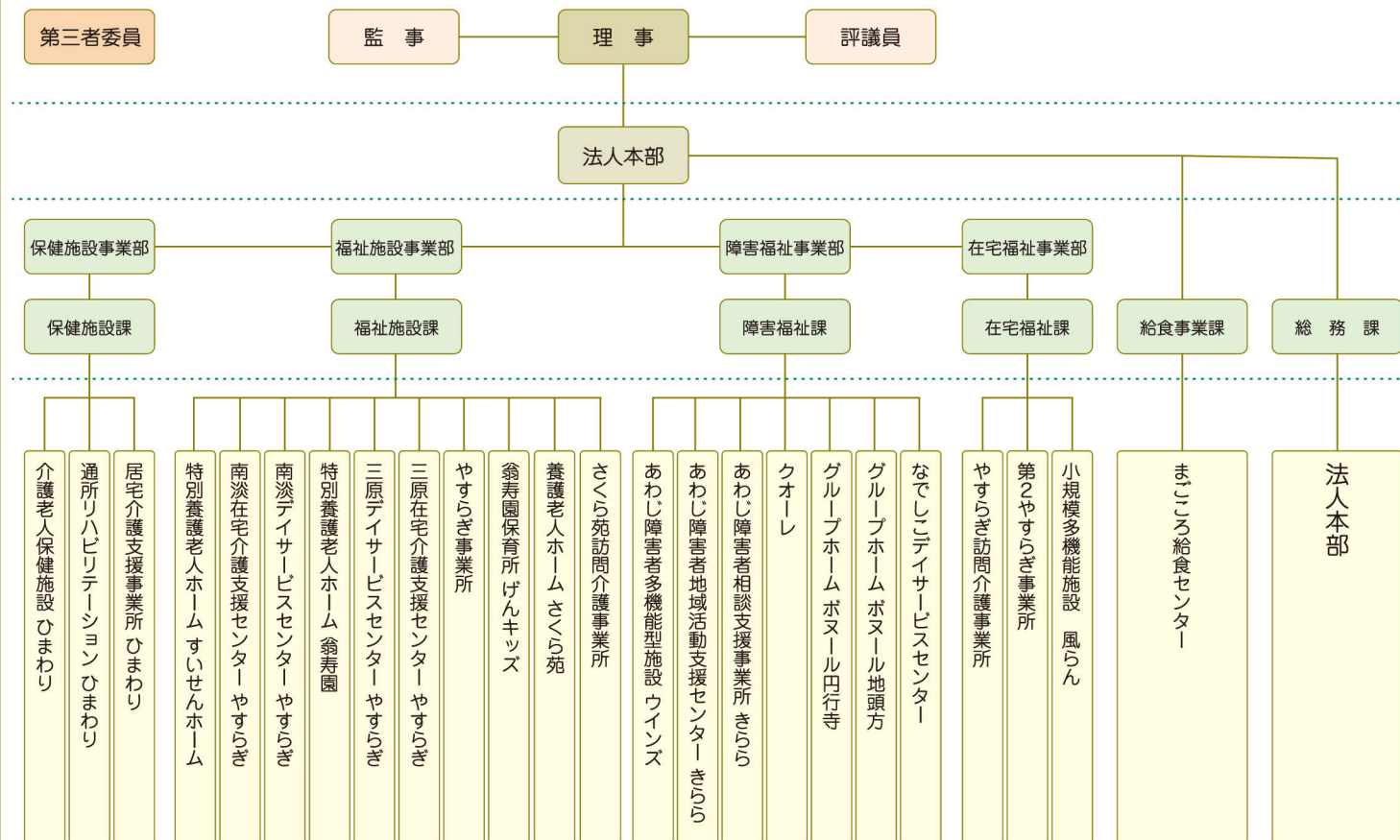
当初「翁寿園」は入所の方々も重症な方ばかりで、まるで病院のような状態でした。職員の方々は日夜を徹して介護・看護に明け暮れた事を今でも昨日のように思い出されます。私もその年の5月の連休は「淡路」と「徳島」の間を幾度となく往復し、診療に邁進した事が昨日のように思い浮かんでまいります。

そんな中、淡路の穏やかな山々の端に登り来る真っ赤な朝日を鳴門海峡の上で望んだ光景は、とても美しく、圧倒的な感慨で今も忘れることが出来ません。あの日があって今日があるのだと思い、あの頃一緒に働いていた職員の1人1人に感謝の気持ちでいっぱいです。

今日までの法人の成長は、目を見張るものがありますが、何と言っても大切なことは、その職場職場に素晴らしい人材が育ってきた賜物によるものだと思います。これからも職員の1人1人が利用者の方々に寄り添い、共感と傾聴の心をもって接し、やさしい真心のこもった施設となるように頑張りたいと思っています。そうする事で「淡路島福祉会」が地域に親しまれ信頼される社会福祉法人として成長していくものと信じております。

本当に30年間ありがとうございました。今後とも、皆様方の御支援ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

## 淡路島福祉会組織図



## 淡路島福祉会役員名簿

理事長 八木康公

理事	八木英臣	監事	原孝仁	評議員	谷村誠
理事	岡本和浩	監事	平岡督朗	評議員	小林健司
理事	奥野一喜			評議員	宮地良幸
理事	山口勇樹			評議員	窪田良岱
理事	瀧口洋			評議員	三好雅大
				評議員	齊藤巧
				評議員	原口育大



# 基本理念

地域に親しまれ信頼される 福祉事業所に

- 1 利用者の視点に立ち、人権を尊重したサービスを提供する。
- 2 常にサービスの向上を目指し、自己研鑽を怠らず創意工夫に努める。
- 3 事業者としての義務を果たし、責任を持った経営を行う。

当時の写真

淡路島福祉社会沿革

時事



1986 (昭和61年)

法人設立



1987 (昭和62年)

特別養護老人ホーム翁寿園事業開始  
老人短期入所(シヨート)事業開始



1994 (平成6年)

三原デイサービスセンターやすらぎ事業開始  
在宅介護支援センターやすらぎ事業開始



1999 (平成11年)

三原郡小規模作業所きらら運営事業受託開始  
神戸家庭裁判所補導委託受託事業開始  
老人保健施設ひまわり事業開始  
居宅介護支援事業所やすらぎ事業開始



2000 (平成12年)

三原町配食サービス受託事業開始



2003 (平成15年)

翁寿園内に地域交流ホーム開設



2004 (平成16年)

知的障害者授産施設ウインズ受託事業開始



次ページへ



上野動物園のパンダに赤ちゃん「トントン」誕生 1986



三原山噴火 1986



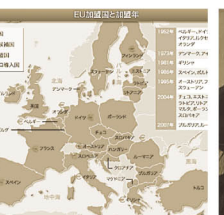
マドンナ来日 1987



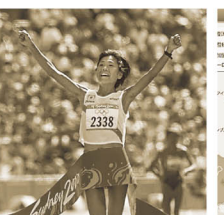
関西国際空港開港 1994



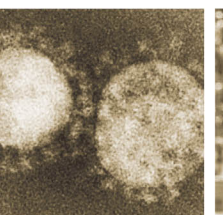
宇多田ヒカルデビュー 1999



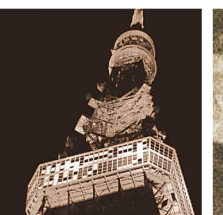
ユーロ導入 1999



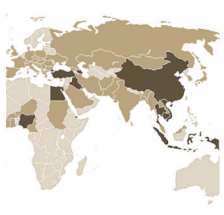
シドニーオリンピックQちゃん優勝 2000



新型肺炎SARS流行 2003



地上デジタル放送開始 2003



鳥インフルエンザ流行 2004



新潟県中越地震 2004



ダイアナフィーバー 1986



石原裕次郎死去 1987



国鉄民営化 1987



大江健三郎ノーベル文学賞受賞 1994



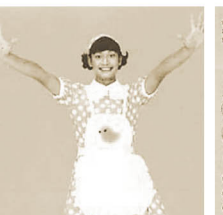
松本サリン事件 1994



地域振興券交付 1999



2千円紙幣発行 2000



香取慎吾「おっは〜」流行 2000



イラク戦争開始 2003



BSE流行 牛丼販売停止 2004





2005  
(平成17年)

特別養護老人ホームすいせんホール 受託事業開始  
南淡デイサービスセンターやすらぎ 受託事業開始  
南淡在宅介護支援センターやすらぎ 受託事業開始  
翁寿園に小規模生活単位型(ユニットケア)開設  
沼島地区(離島)の出張デイサービス 配食サービス事業受託開始  
知的障害者グループホーム YAMAYAハウス事業開始  
居宅介護支援事業所第2やすらぎ 事業所事業開始  
やすらぎ訪問介護事業所事業開始

2006  
(平成18年)

特別養護老人ホーム翁寿園での 障害者短期入所事業開始  
特別養護老人ホームすいせんホールでの 障害者短期入所事業開始

2007  
(平成19年)

特別養護老人ホームすいせんホールが、特別養護老人ホームすいせんホールに名称変更  
小規模多機能施設風らん 事業開始(老人福祉サービス事業)

2010  
(平成22年)

翁寿園内に認可外保育施設 翁寿園内保育所開設  
特別養護老人ホームすいせんホーム 南あわじ市より譲渡、運営開始

2011  
(平成23年)

なでしこデイサービスセンター事業開始 (障害福祉サービス事業)  
障害者グループホームボヌール円行寺 事業開始  
障害者グループホームYAMAYAハウスが、ボヌール地頭方に名称変更  
コパンえんぎよつじ事業開始

2012  
(平成24年)

特別養護老人ホームすいせんホームが30床のユニット棟増床  
あわじ障害者相談支援事業所きらら  
障害者特定相談支援事業及び 障害児相談支援事業開始  
第2やすらぎ事業所及び やすらぎ訪問介護事業所が建設を移設  
コパンじとほ(障害福祉サービス事業)が改装



愛知万博開幕 2005



小泉首相郵政解散 2005



秋篠宮妃親王出産悠仁様命名 2006



耐震強度偽装事件姉齒逮捕 2006



第1次安倍内閣辞任 2007



郵政民営化スタート 2007



鳩山首相退陣 2010



野田内閣発足 2011



東日本大震災 2011



第2次安倍内閣発足 2012



石原都知事辞任 2012



JR宝塚線脱線事故 2005



ディーブインパクト三冠達成 2005



東京三菱銀行とUFJ銀行合併 2006



年金特別便発送開始 2007



白鳳横綱昇進 2007



東北新幹線 青森まで開通 2010



ハイチでM7.0の大地震 死者220,000人 2010



アラブの春 2011



金正日 死亡 2011



スカイツリー開業 2012



山中中大教授ノーベル医学生理学賞 2012

次ページへ



# 淡路島福社会 施設紹介



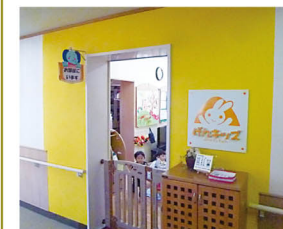
2015  
(平成27年)

2014  
(平成26年)

2013  
(平成25年)

現在に至る

養護老人ホームさくら苑  
南あわじ市より譲渡、運営開始  
さくら苑訪問介護事業所事業開始  
南あわじ市新庁舎内店舗COCOWA  
(こころわ 障害福祉サービス事業) 開店  
コパンえんぎょうじがクオーレに名称変更  
翁寿園内保育所げんキッズが地域型保育  
(事業所内保育) 事業所認可を受ける



特別養護老人ホーム翁寿園ユニット部分が  
地域密着型介護老人福祉施設として事業所  
認可を受ける

まごころ給食センター事業開始  
あわじ障害者相談支援事業所きりら障害者  
一般相談支援(地域移行・地域定着)事業開始



ラグビー ワールド杯 代表活躍 2015



御嶽山噴火 2014

きょうからこう変わる

増税	消費税	5%→8%
	環境税	石油1リットルあたり 25銭→50銭
	住宅ローン	消費税8% 2014



富士山世界文化遺産に 2013



イチロー-日米通算4,000本安打 2013



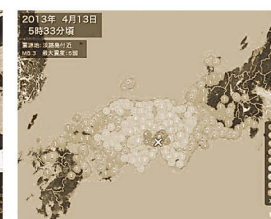
爆買 2015



パリ同時テロ 2015



富岡製糸場 世界遺産に 2014



淡路島で震度6の地震 2013



# 特別養護 老人ホーム すいせんホーム

☎(0799)  
53-0030  
FAX (0799)  
53-0033

特別養護老人ホーム すいせんホーム／南淡デイサービス やすらぎ／南淡在宅介護支援センター やすらぎ(居宅介護支援事務所)

社会福祉に携わるようになって20余年になります。省みると福祉の制度は大きく様変わりしました。利用者の意識も、周囲に気兼ねしながら利用していた頃と一変、今では権利として利用されるに至り、特別養護老人ホームなどは空き待ちの状況です。同時に、サービスする側に求められる資質も変わってきました。そんな中、共に学び成長してきたすいせんホームの職員は、心根のやさしい相手の気持ちを慮ることができる素晴らしい仲間たちです。人材不足が楽観視できない現状ではありますが、スタッフ同一一致団結し、時代の変化に負けまい、まごころをもって、つとめさせていただきたいと考えています。

特別養護老人ホーム すいせんホーム  
施設長 岡本和浩



# 特別養護老人ホーム 翁寿園

☎(0799)  
42-6006  
FAX (0799)  
42-5275

特別養護老人ホーム翁寿園／翁寿園内保育所げんキッズ／三原デイサービスセンターやすらぎ／居宅介護支援事業所やすらぎ／三原在宅介護支援センターやすらぎ

翁寿園は、昭和62年、公立の施設に先駆け、民設民営として発足しましたが、長寿社会の進展とともに地域に支えられ今日に至っています。

狭いながらも時代の要請に応えながら、デイサービス・短期入所・在宅介護・居宅介護支援更には保育所等々の事業を総合的に推進してまいりました。

建物は時代に合わなくなってきましたが老舗の趣が出てきたように思います。高齢者の住まいは落ち着いた空間が合っているのではないのでしょうか。

「遠慮なければ必ず近憂あり」という言葉がありますが、この施設は30年先利用していただけるにはどこをどうしておくべきか等々、今熟慮しています。

今まで培ってきた文化を大切にしながら30年という礎の上に立って、地域に親しまれ、信頼され続けられるよう30年先へ一歩を踏み出したいと思います。

特別養護老人ホーム 翁寿園  
施設長 三好雅大





# 老人保健施設 ひまわり

老人保健施設ひまわり／通所リハビリテーションひまわり／  
居宅介護支援事業所ひまわり

☎(0799)  
42-7801  
FAX (0799)  
42-7802

施設長として老健ひまわりに異動してきて間もなく満4年になります。年月は早いと感じています。法人が出来て30年と言う長い時間も、振り返ったら多分あつという間の出来事であったと思います。法人運営を継続して行くという大変な作業をされてこられた諸先輩方に敬意を払わずにはられません。

老健ひまわりも8月1日で満17年を迎えました。今後20年、30年と地域の皆様のご期待に応えることが出来るように、諸先輩方に負けないよう、職員一同、職場の仲間として尊重し合い、明るい雰囲気の中でも緊張感を持って、看護・介護のプロとして利用者様第一で取り組んでまいります。

老人保健施設 ひまわり  
施設長 森岡 伸一



# 養護老人ホーム さくら苑

養護老人ホーム/外部サービス利用型特定施設入居者生活介護/  
訪問介護/短期入所生活介護/生活管理指導短期宿泊事業

☎(0799)  
54-0421  
FAX (0799)  
54-0495

私が淡路島福祉会に入職したのは、南あわじ市誕生と同じ日の平成17年1月11日、約12年前になります。すいせんホームの運営移譲と同時に入職し、翁寿園に異動となったため、少しの緊張感と色々な思いを抱えていたことを思い出します。

この12年の間、それまで経験のあった特養や支援センターだけでなく、市包括支援センターへの出向や訪問介護、障害者福祉事業にも携わることができ、多くの価値ある経験をさせて頂きました。

30周年を迎え、これからはその経験を後進の職員につなぎ、少しでもご恩返しができればと考えています。10年、20年後も『地域に親しまれ、信頼される福祉事業所』であり続けられるよう邁進して参ります！

養護老人ホーム さくら苑  
施設長 中川まゆみ





# 第2やすらぎ事業所 やすらぎ訪問介護事業所

(0799)  
●居宅  
42-7113  
●ヘルパー  
42-7012  
FAX (0799)  
42-7043

# 風らん

(0799)  
50-1051  
FAX (0799)  
50-1052

小規模多機能施設

平成7年に入職して早21年が経過しました。入職当時は、翁寿園と併設するデイサービスセンター、在宅介護支援センターのみであった法人が現在、12拠点35事業まで拡大しました。

その間、私は「特別養護老人ホーム」「デイサービスセンター」「小規模多機能型居宅介護」「訪問介護」のサービスに様々な職種で携わりました。振り返ると、異動のたびに「またーからでしんどいなあ」という気持ちが正直ありましたが、その時々のご利用者、ご家族をはじめとする地域の方々そして、共に働いてきた職員との出会いがあり、ここまで継続することができたことに感謝しています。

これからも淡路島福祉会とともに歩んでいきたいと思えます。

在宅福祉事業部  
課長 榮 慎吾



# ウインズ

(0799)  
43-2811  
FAX (0799)  
43-2812

あわじ障害者多機能型施設 ウインズ

# きらら

(0799)  
43-2155  
FAX (0799)  
43-2156

あわじ障害者地域活動支援センター きらら  
あわじ障害者相談支援事業所 きらら

淡路圏域における、障害者福祉施策の25年間を省みると、当初、社会資源(サービス)と言うものはほとんどありませんでした。養護学校を卒業後、就職先もほとんどなく福祉のサービスも無い、そんな状況に対し、障がい者ご本人およびご家族等、当事者の皆様方が中心になり、計り知れない努力で作られて来られたのが、あすなろ作業所とまりしの里作業所。

平成11年には、二つが一つとなり、『きらら』という小規模作業所に。その当時、私共、淡路島福祉会が運営を受け継ぎました。その5年後、授産施設『ウインズ』を隣地に新設。第一種社会福祉事業として、地域の中核的障害者福祉サービス事業所ができました。

そして平成20年、障害者自立支援法により、現在の体系である多機能型施設と地域活動支援センターになりました。さらに、平成23年には就労移行支援事業所クオーレと2か所目となるグループホームを設立しました。平成25年からは障害者総合支援法が施行され、より、社会の変化に取り残されない取り組みを着実に進める時代となりました。

幸福の追求という福祉の理念をしっかり持ち、個々の能力を最大限に発揮し、チームワークで邁進したいと思います。

ウインズ  
施設長 藪脇 久臣



# 共感・共存・共栄







## 最長在職職員と最長利用者様ご挨拶

### 最長在職職員 看護師 浜崎洋子

私は、28年前に翁寿園に入職させていただきました。当初私は20代と若く、高齢者介護の知識も乏しく、毎日不安な気持ちで業務に関わっていたことを思い出します。

その後、居宅介護支援事業所でケアマネジャーの仕事も経験し、在宅のご利用者やご家族の思いに直に関われたことは貴重な勉強となりました。

今はすいせんホームで看護の仕事をしていただいておりますが、これまで経験したことが少しでもご利用者の役に立てるようにと思っております。

恵まれた環境で高齢者福祉に関わることができ、本当に感謝しています。



平成元年7月より翁寿園に入居されている平瀬正治さんより施設での思い出を振り返っていただきました。

### 特別養護老人ホーム翁寿園 最長入居者 平瀬 正治さん

入所した平成元年当時は、地名も「三原町」で、建物も本館50床だけのこじんまりとした建物でした。そこからデイサービスやショートステイの別棟が建ち、ユニット床の建物が増築されて…。という具合に大きくなっていったの覚えています。お隣のひまわりもまだない時代でした。

翁寿園での思い出は…。思い出がありすぎて、これというのにしぼれませんが…。昔、八木病院までリハビリをしに連れて行ってもらったことや、他の施設に風船バレーをしに行ったこと、島外の動物園に連れて行ってもらったことなどを思い出します。

楽しみは…。ここに来てからずっと部屋のベランダでしている園芸です。自分で本を見ながら花や野菜を育てていますけど、なかなか思うようにはいかないこともあって、それがまた面白いんです。自分で育てた花の種を地域の小学校にプレゼントしたこともありました。それから、毎年春になると地域のだんじりが回ってきてくれ、だんじり唄を披露してくれることも楽しみです。

ここで28年生活してきて、自分の思うように過ごさせてもらっています。これからも今までどおり、翁寿園で穏やかに、好きなことをしながら生活したいと思っています。



翁寿園保育所  
げんキッズ

TEL/FAX  
(0799)  
42-6006  
FAX  
42-5275

まごころ  
給食センター

(0799)  
43-5607  
FAX (0799)  
43-5608

みんな なかよし

思いやりのある心で  
食べやすく・美味しい食事を

月日の経つのは早いものです。

平成25年4月1日に法人内各施設と八木病院の厨房を一か所に集中させた共同調理場がオープンし、4年目に入りました。

当初から「思いやりのある心で 食べやすく おいしい食事を」を念頭に、栄養士・調理員が一丸となって取り組んでいます。また、地域サポート特養の取り組みの中、配食サービスにも力を入れています。

これからも時の流れに沿いながら、淡路島福祉会の利用者・職員、地域住民を対象に人と食の繋がりを大切にし、お腹も心も満たす食事を提供していきたいです。

まごころ給食センター  
所長 垣 いくみ





# 淡路島福祉会に入職して一番の思い出



主任介護支援専門員  
柏木初美

淡路島福祉会に入職して11年目を迎え、現在第2やすらぎ事業所で主任ケアマネとして働いています。50歳から始めたケアマネですが、大勢の先輩・後輩と共に学び、何歳になっても役立つケアマネを目指しています。



事務員  
阿部京

すいせんホームに勤めて21年、淡路島福祉会の職員となり11年が過ぎました。沢山の思い出の中で、行事の出し物のハンドベルを皆と練習したことが懐かしいです。これからも「一生懸命」を座右の銘に頑張ります。



看護師  
福原幸子

平成25年から第三者評価を受けています。外から来られた方がみてどう思われるか、どのように取り組めば課題解決に近づくのか、みんなで考える機会になりました。現在の委員会活動につながる貴重な体験となっています。



介護職員  
山口いつみ

私は平成7年に翁寿園に入職しましたが、10年目で退職し別の職業に就いていました。しかし自分には福祉の仕事しかないと、平成19年に再入職。現在は風らんで充実した毎日を送っています。



生活相談員  
若林佳織

私の入職日は『家族会』の日でした。緊張で声を震わせながら、たくさんのご家族の前で挨拶をさせていただきました。何もわからないまま会に出席し、期待と不安がいっぱいでしたが、今ではよい思い出です。



看護師  
土井悦子

寒い早朝、施設の玄関で男性利用者とのお別れがありました。終末期を支えた奥様から感謝の言葉と熱い涙をいただき、使命が一つ果たせた思い出でいっぱいでした。一人の看護師として、一期一会を大切にしていきたいと思います。



生活支援員  
乙井大将

今までたくさんの利用者に関わってきましたが、支援員の工夫次第で利用者の可能性が広がると実感しました。利用者の願いが実現した時の喜びが今でも印象に残り、今は仕事のやりがいとなっています。



生活支援員  
新崎泰子

妊娠中、一緒に作業をしていたメンバーさん達が、家族のように体調を気にかけて、お腹に声をかけてくれたことです。メンバーさん達の相手に対する気遣いや心配りを見習い、これからも声をかけ合いながら一緒に作業していきます。



運転員  
坂東準之助

入職して6年以上過ぎました。姫路セントラルパーク、ぶどう狩り、花鳥園などへ日帰り旅行に出かけて、ご利用者に喜んでいただけたことが思い出です。これからも淡路島福祉会でがんばっていききたいと思います。



支援相談員  
三原裕史

インフルエンザが流行った時期に利用者様だけでなく職員も次々と寝込み、残った職員で何とか業務を回しました。人数不足で戦場のような現場を仲間と共に協力して乗り越えることができました。



主任生活相談員  
竹内陽介

まだ新人のある日、先輩職員と共に朝からバスに乗ってビールを一杯、その後ビール工場に行ってもた一杯、その後もビールを飲みながら大阪を観光した職員旅行の1日は、ビール好きの私にとって良い思い出になっています。



主任支援員  
杉浦博美

入職当初は介護の仕事について何も分からなかった私ですが、上司や先輩職員に支えられ、10年目を迎えることができました。これからは淡路島福祉会で学んだことを後輩職員につなげていきたいと思っています。



管理栄養士  
真野美砂子

自分の工夫で、利用者様の笑顔や元気へとつながることができた事が思い出です。利用者様の食にまつわる話に耳を傾け、単にお腹を満たすだけでなく、好きなものを美味しく楽しく食べていただけるお手伝いをしたいです。



介護主任  
山口剛和

「あんたの笑った時のえくぼ可愛いなあ」と言ってくれるご入所者がいました。私が忙しそうに仕事をしていると、「今日は怒ってんのか？」と一言。ありきたりの話ですが、すごく大切なことを気づかされました。



保育士  
酒林祐見子

何といっても可愛い子どもたちとの出会いです。山里のこの施設で四季折々の季節の風を感じながら、子どもたちと手をつなぎ、あぜ道を散歩する時が一番の幸せです。利用者さんや職員さんの温かいまなざしの中で居心地よくお仕事をさせてもらっています。



総務課長  
平野美佳

夏祭りやクリスマス会、忘年会で披露する職員によるパフォーマンスが成功したことです。練習をしたり、衣装を揃えたりと業務終了後、職員一丸となって、ひとつのものを作り上げたことが一番の思い出です。





# 社会福祉法人 淡路島福祉会

〒656-0446 兵庫県南あわじ市八木寺内373番地の1

〒656-0452 兵庫県南あわじ市神代浦壁199(本部事務局)

TEL.(0799)42-5899(代) FAX.(0799)43-2812

URL: <http://awaji-yasuragi.jp>